

新年度に向けて

— 市長インタビュー & 新年度予算案 —

市長インタビュー

武蔵野市長 小美濃 安弘

「守るべきもの」と 「新しい変化」が 調和する市政を前へ



「14万市民の命を守るまちづくり」を推し進める小美濃安弘市長。令和8年度はどのような視点で市政に取り組んでいくのか、これからの市政運営についての考えや新年度に臨む思いを聞きました。

令和7年は「昭和100年」、そして「戦後80年」という大きな節目の年であり、阪神・淡路大震災から30年でもありました。武蔵野市でもムーバスやセカンドスクールが30周年を迎え、さまざまなイベントを実施しました。こうした多くの節目を越えた令和8年度は、「不易流行^{ふえりりゅうこう}」の精神を市政運営に取り入れ、「守るべき伝統や本質」と「時代と共に変わりゆくもの」、この二つを調和させることが重要だと考えています。

武蔵野市では、幅広い市民参加により策定される長期計画に基づく計画行政を昭和46年度から継承してきました。これは市の本質的な姿勢であり、変えてはいけないものとして今後も継続していきます。一方で変化していくもの

としては、民間に遅れることなくDXを推進し、利便性の向上を図っていくかなければならないと思っています。その一つが、手続きのオンライン化により、可能な限り「行かない」窓口を実現することです。また、ご来庁いただく必要がある手続きの場合でも、簡素化やデータ連携などにより「書かない」「待たない」窓口を目指してまいります。令和9年度には節目である市制施行80周年を迎えます。これからも、「住んでよかった武蔵野市」と言っていただけのように、市民の皆さまの声に耳を傾けながら政策を立案し、市政運営に当たっていききたいと思えます。ぜひ皆さまの忌憚^{おぼえ}ないご意見をお聞かせください。

社会実験の実施



地元の商店会とも協力して南口駅前のパークロードなどでの社会実験を行い、まちの将来像策定につなげます。

令和7年10月の社会実験(吉祥寺駅南口周辺が一昼夜限りのピクニック会場に)

令和8年度 特徴ある事業

予算のポイントや特徴ある事業などをまとめた「施政方針」や、前年度との比較、主要な施策予算一覧、市民施設の概要などをまとめた「予算参考資料」を市ホームページで公開しています。



令和8年度施政方針・予算参考資料

新規 新規事業 継続 継続事業

レベルアップ 拡大・充実事業

(予算額に「*」のある事業は既存事業費を含む)

誰もが安心して歩けるまちへ 吉祥寺イーストエリアの環境浄化を 推進します

吉祥寺駅東側の吉祥寺イーストエリアを、市民や来街者など誰もが安心して歩けるまちとするため、同エリアを含めて環境浄化特別強化期間(令和8~10年度)をスタートし、取り組みを強化します。



勧誘行為等適正化特定地区(対象区域)

環境浄化特別強化期間重点エリア

レベルアップ

①客引き対策の強化

〈総務費〉 **1404**万円



安全パトロール隊「ブルーキャップ」「ホワイトイグル」のパトロールを強化します。

安全パトロール隊「ブルーキャップ」

レベルアップ

②街頭防犯カメラの増設

〈総務費〉 **2111**万円

吉祥寺イーストエリアを含む来街者の多いエリアに、防犯カメラを25台増設します。

市民や関係者の皆さまの意見をお聞きしながら、交通環境の改善を中心にしたまちづくりをしていきます。令和8年度はその最初の一步を踏み出す年。これから吉祥寺が本格的に動き出します。ご期待ください!



継続

吉祥寺の未来を市民・まちの関係者と考える 吉祥寺パークエリアのまちづくりを 進めます

〈土木費〉 **5319**万円

吉祥寺駅南口周辺の「吉祥寺パークエリア」。交通環境を改善し、魅力的なまちであり続けるため、市民やまちの関係者と共有する「まちの将来像(ビジョン)」策定に向けた取り組みを進めます。

「きちば未来会議」による対話の促進

令和7年度にスタートした市民・まちの関係者との情報共有や意見交換などを本格的に進めます。

まちづくりの方向性検討

市民・まちの関係者・有識者の意見を踏まえ、まちの将来像の策定に向けて、まちづくりの方向性を検討します。

新規

全市民の命を守る防災対策 第三の矢 首都直下地震への備えをさらに 進めます

〈消防費〉 **557**万円

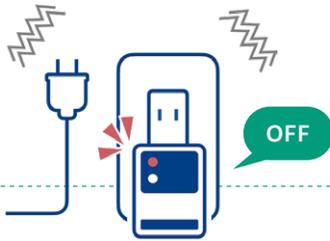
大地震発生時における「自助」の力を高め、全市民の命を守るための取り組み。在宅避難を推進するための全世帯向け防災対策として、家具転倒防止対策（令和6年度～）、トイレ対策（令和7年度）に続き、出火防止対策を行います。

内容

感震ブレーカー（コンセントタイプ）の無料配布

対象

市内の全世帯（申請式）



感震ブレーカー

強い揺れを感知した際に自動的に電気を遮断する装置で、アース付きコンセントがあれば電気工事不要で取り付け可能。令和6年の能登半島地震でも大規模な通電火災が輪島市で発生しており、大地震に備えて特に木造住宅の多い地域で必要性が提言されている。一方、令和4年の市民防災意識調査での対策率は8.8%と低い。

令和6年度は家具転倒防止金具などの購入費補助、令和7年度には携帯トイレの無料配布と進めてきました。命を守る防災対策の第三の矢として、震災時の出火防止対策を推進します。いざというとき、在宅避難ができるよう、ご自宅の安全性を確保していただきたいと思います。



新規

③街路灯の照度アップ

〈土木費〉 **200**万円

一部街路灯の照度を向上。夜間の歩行空間をさらに明るくし、安全・安心の向上を図ります。

多くの方々の尽力により、吉祥寺イーストエリアの環境は大幅に改善し、あと一步のところまで来ています。令和10年度の本町コミュニティセンター移転に合わせ、これからの3カ年で最後のピースをしっかりと埋めたいと思います。



レベルアップ

市民の命を守る医療機関への支援 医療インフラへの緊急支援を 継続します

〈衛生費〉 **1億3838**万円



物価・人件費の上昇、吉祥寺南病院の診療休止などによる影響を踏まえ、地域の医療体制を支える市内病院への総合的な支援を引き続き行い、市民の医療インフラを守ります。

地域医療確保緊急支援補助金

市内の病院（計6医療機関）を対象として急激な物価高騰などを踏まえて総合的に支援します。

二次・三次救急医療体制維持・強化補助金

吉祥寺南病院の診療休止などを踏まえ、市内の東京都指定二次・三次救急医療機関（計2医療機関）に対して支援します。

小児・産科救急医療運営費補助金

武蔵野赤十字病院に対する小児・産科救急医療に関する補助金を増額します。

レベルアップ

②指定ごみ袋への バイオマスプラスチック配合

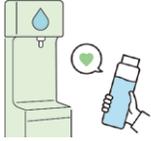
〈衛生費〉*1億**2392**万円

市指定ごみ処理袋にバイオマスプラスチックなどを配合し、製造時と焼却処理時の二酸化炭素排出量を削減します。

新規

③ボトル対応の屋外給水拠点設置

〈衛生費〉**299**万円



ごみ減量のための「マイボトル」普及啓発や、熱中症対策などの観点から屋外給水拠点を設置します。

市民の方々からご意見をいただき、利便性の観点からペットボトルを毎週収集することを決めました。ただ収集回数を増やすのではなく、同時にごみ減量・環境負荷低減にも取り組んでいきます。また、給水拠点は、屋内も含めて整備しますよ。



新規

都内初の独自補助! 誰もが住み続けられるまちへ たんの吸引などを行う介護事業者を 支援します

〈民生費〉**432**万円

高齢化に伴い、医療的ケアを必要としながらも在宅生活を続ける要介護者が増加しています。たんの吸引などが必要な高齢者が安心して在宅生活を継続できるよう、「認定を受けた訪問介護事業者が医師の指示のもとに行う医療的ケア」に対して新たな補助金を支給します。

補助額

医療的ケアの対象者
1人当たり6000円/月

対象事業者

10事業所(想定)



安心して子育てを始められるまちへ 妊娠期～産後の子育て家庭を 支援します

「子ども子育てを応援するまち」の第一歩は、「安心して子育てを始められるまち」です。妊娠期から産後1年間、子育ての始まりを多面的に応援します。

新規

①子育て世代への外出支援

〈民生費〉**2789**万円

妊娠中やベビーカーなどでの電車・バス利用は大変です。公共交通機関の利用が難しくても安心して外出できるよう、タクシー配車アプリの電子チケット配布で支援します。



レベルアップ

②産後ケアサービスの拡充

〈衛生費〉***8376**万円

令和6年度は妊婦の8割超が登録し、全妊婦の約6割が利用するなど、年々ニーズが高まっています。特にニーズの高い日帰り型サービスを拡充するとともに、一連の手続きのオンライン化を進め、利便性向上を図ります。



ごみ排出の利便性向上と環境への配慮の両立へ ペットボトル毎週収集と 環境負荷低減策を実施します

市民の利便性向上と環境への配慮を両立させるため、ごみに関する取り組みを総合的に進めます。

レベルアップ

①ペットボトル収集回数が増

〈衛生費〉*1億**8649**万円

ペットボトルの排出量増加に対応し、市民の利便性向上のため、令和8年7月から収集回数を増やします。

現在

隔週1回



変更後

毎週1回

新規

④ デジタル技術を活用した 高齢者の見守り

〈民生費〉 **471**万円

高齢者がひとり暮らしでも安心して生活し続けられるよう、デジタル技術を活用して家族などによる見守りを支援します。

レベルアップ

エネルギー地産地消・環境負荷低減 ゼロカーボンシティに向けた 取り組みを推進します

〈衛生費〉 **3757**万円

※第四中学校自営線 常用化に係る事業費のみ

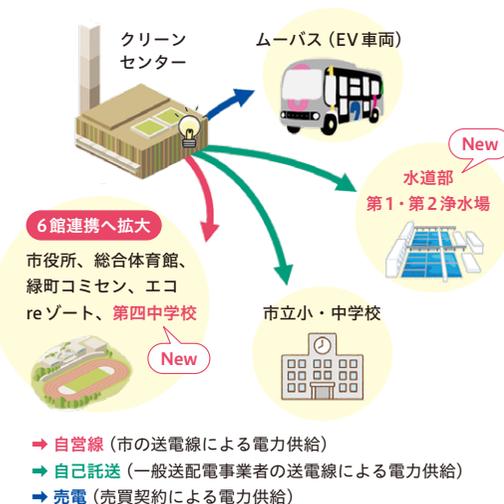
「2050年ゼロカーボンシティ」の実現に向け、市クリーンセンターのごみ発電による電力の地産地消の取り組みをさらに進めます。

クリーンセンターごみ発電の託送先拡大

ごみ発電による電力の託送先を市水道部浄水場にも拡大し、電力使用に伴う二酸化炭素排出量の削減を図ります。

第四中学校自営線 常用化

ごみ発電による電力を第四中学校へ送る自営線を常用に切り替えることにより、6館連携へ拡大し、電力の地産地消のさらなる向上を図ります。



市の予算に関する資料は、市役所市政資料コーナーやホームページなどで閲覧できます。

新規

不登校の子どもたちへの更なる支援 チャレンジクラスを 新たに設置します

〈教育費〉 **368**万円

不登校の子どもたちの居場所である「チャレンジルーム」「むさしのクレスコーレ」に加え、学校教育の中で教育機会を確保するための新たな学びの場として、「チャレンジクラス」を第五中学校に設置します。

設置校 市立第五中学校
(関前2丁目10-20)

開設時期 令和8年4月



デジタル技術の活用を幅広い分野に DXで市民の利便性を さらに向上させます

さまざまな場面で市民の利便性向上を図るとともに、デジタル技術の活用による業務効率化や生産性向上を引き続き推進します。



新規

① 窓口業務改革

〈総務費〉 **6907**万円

「いつでもどこでも利用できる市民サービス」「誰もが利用しやすい窓口」を目指します。手続き時の市民の待ち時間などを削減するため、受付後の事務を含めた窓口業務改革を検討します。

新規

② マイナンバーカードで 「書かない窓口」実現

〈総務費〉 **203**万円

マイナンバーカードに関する手続きで、申請書に記載する事項の一部を自動で作成し、複数の申請書を同時に出力するなど、市民の利便性向上と窓口業務の効率化を図ります。

新規

③ 公共施設予約システムの構築

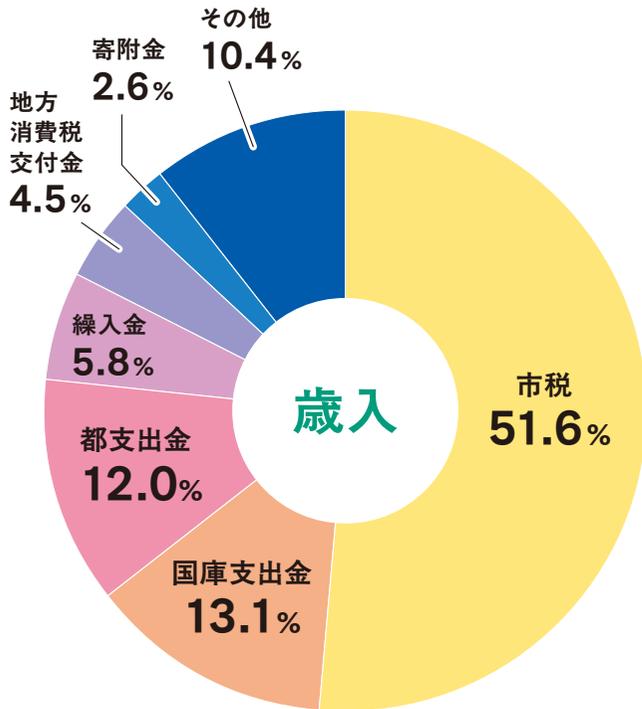
〈総務費〉 **3187**万円

市の文化施設やスポーツ施設、生涯学習施設など、共通の施設予約システムを新たに構築し、市民の利便性向上を図ります。

基盤を整え しなやかな未来をつくる予算

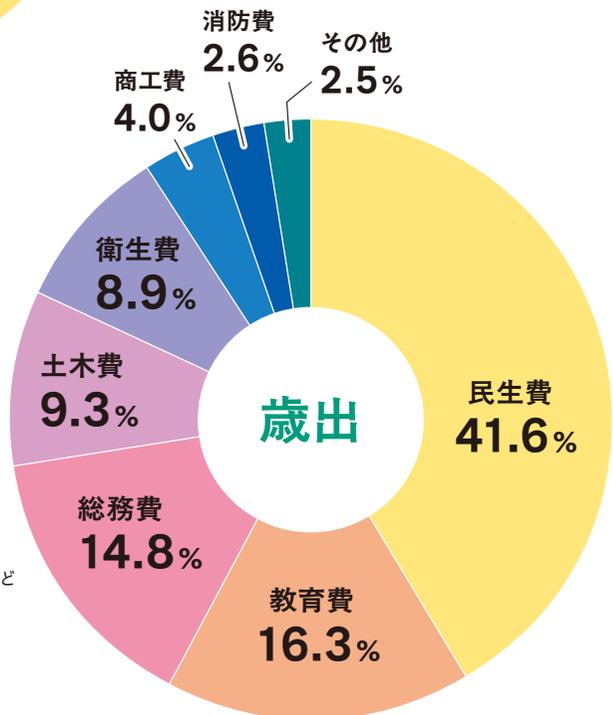
一般会計予算 **942億2700万円**

[前年度比 61億9900万円増]



一般会計歳入・歳出予算

市税：市民税、固定資産税など
 国庫支出金：国からの負担金、補助金など
 都支出金：都からの負担金、補助金など
 繰入金：基金の取り崩しなど
 地方消費税交付金：地方消費税に係る都からの交付金
 寄附金：ふるさと応援寄附など
 その他：市債、諸収入、使用料及び手数料、法人事業税交付金など



民生費：高齢者、障害者、児童の福祉など
 教育費：学校、生涯学習、スポーツ推進など
 総務費：庁舎管理、文化振興、全児童対策など
 土木費：道路、公園の整備など
 衛生費：ごみ処理、病気予防、環境政策など
 商工費：地域産業の振興など
 消防費：消防、防災など
 その他：公債費、議会費など

市民1人当たりの予算額

(一般会計)

武蔵野市の人口

14万7958人

令和8年1月1日時点

1人当たりの予算額

63万6850円

[59万4647円] ※ [] は前年度予算

高齢者、障害者福祉
などのために

14万2714円

[14万6098円]



子育て支援の
ために

13万249円

[12万4992円]



学校教育、図書館や
スポーツ振興のために

10万3574円

[10万7954円]



道路、公園整備など
まちづくりのために

6万173円

[5万721円]



行政運営のために

5万7177円

[5万8098円]



市民の健康を守る
ために

3万453円

[2万4983円]



コミュニティ、文化、
国際交流のために

2万6748円

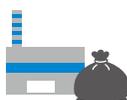
[1万6702円]



ごみ処理、環境保全の
ために

2万6414円

[2万4509円]



商業振興、消費者
保護のために

2万5420円

[1万145円]



消防、災害対策、
防犯のために

1万8945円

[1万6231円]



市債(市の借金)の
返済のために

9907円

[9278円]



市議会運営の
ために

3506円

[3210円]



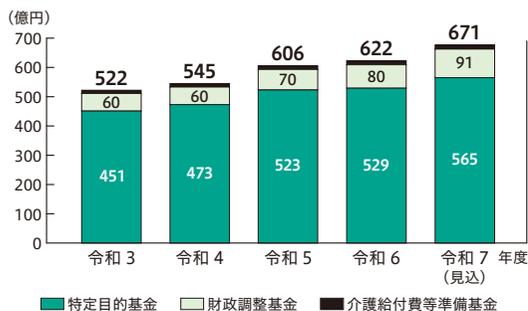
その他

1570円

[1726円]

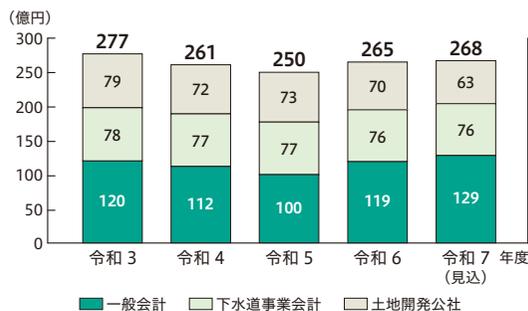


基金(貯金)の状況



経済事情の著しい変動などによる財源不足や災害への対応のための財政調整基金、老朽化した施設の更新、公園や都市インフラの整備などのための特定目的基金など、各目的に応じた基金を設け、積み立てをしています。

市債など(借入金)の状況



学校や公園、道路など長年にわたり使用する施設の建設費や土地購入費の資金を借入れ、毎年公債費として返済をしています。多額な支出による財政負担を年度間で平準化すること、将来の市民にも公平に費用を負担していただくという考えにより、借入れを行っています。